

7月12日(日)午前11時、彩の国すこやかプラザ2階研修室において埼玉摂食・嚥下研究会の理事会および総会が行われた。20年度事業報告・決算報告、21年度事業計画・予算案、役員の変更に関する件、が原案通り承認された。

# 第5回総会・第9回講演会報告



大前新理事



吉原会長

午後1時から、セミナーホールにおいて第9回講演会が多くの職種から280名の参加を得て開催された。講師は横浜市立大学附属市民総合医療センターリハビリテーション科助教の若林秀隆先生、テーマは「症例から考える摂食・嚥下機能の評価と胃瘻の適応」であった。まず始めに症例の提示があり、それに対して7つの問題を設けてそれぞれの項目を



若林秀隆先生

## 症例から考える摂食・嚥下機能の評価と胃瘻の適応

横浜市立大学附属市民総合医療センターリハビリテーション科助教

講義した後、受講者同士でディスカッションさせて理解を深めるといふ受講者参加型の講演会であった。講演の所々に、FD(Faculty Development)指導者養成に必要な考え方を散りばめ、勉強の仕方だけでなく人生の在り方にまで及ぶ示唆に富んだお話であった。

(嚥下機能の評価方法のポイント)  
1. 低栄養と脱水の有無を評価する  
嚥下機能を評価する第一歩は栄養状態を把握すること、すべての医療者に求められる力である。栄養状態は主に、身体計測と検査データの2種類で評価する。  
2. 5つの期に分けて評価する  
認知期、準備期、口腔期、咽頭期、食道期を理解して、それぞれの期ごとに評価する。高齢者は意欲低下や

(症例)  
元来元気であった92歳男性。自宅で転倒し右大腿骨頸部骨折受傷。人工骨頭置換術後に誤嚥性肺炎となりしばらく禁食。その後、リハビリを行ったが車椅子移乗レベルまでしか改善せず自宅退院は困難で老健に入所。入所後さらに摂食嚥下機能が低下。大腿部と下腿は骨が容易に触れるようになり、仙骨部に褥瘡を認められた。今のうちに何かできることはないのだろうか。急いで胃瘻を造設している病院に相談しておいた方が良かったら、もう口から食べられないのだろうか。

# 埼玉摂食・嚥下研究会だより

## 「高齢化時代のセーフティ・ライフを目指して」

vol.13

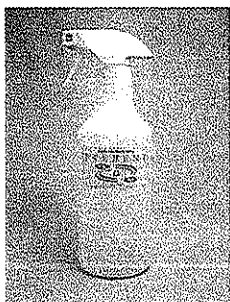
発行日  
平成21年8月20日

発行者  
埼玉摂食・嚥下研究会

会長 吉原 忠男  
事務局

埼玉県浦和区針ヶ谷4-2-65  
彩の国すこやかプラザ5F  
(社)埼玉歯科医師会内  
TEL 048-829-2323

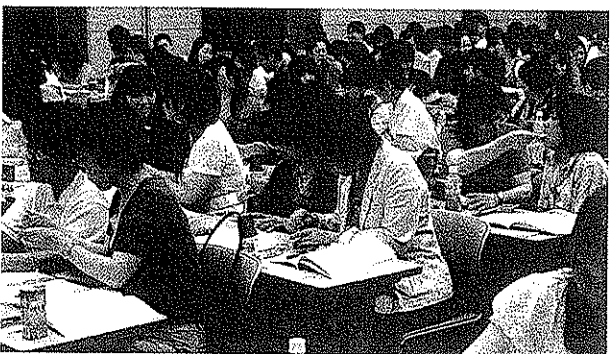
### 新型インフルエンザ等の院内感染予防は万全ですか？



- 手指、器具、機器の除菌、ユニットまわり全般の除菌消臭が手軽に行えます。(除菌後は水に戻る性質なので安全)※人体無害
- 院内感染対策、専用の超音波噴霧器にて空間噴霧する事により院内の空間除菌が瞬時にできます。(同時に空間消臭もできます)

【発売元】ネクスト・ウェイ株式会社 東京都文京区小石川2-1-1丸統ビル702 TEL03-5805-5223

詳しくは→<http://www.next-way.biz/prebent>



抑うつなどがあるので、認知期に問題があると対処が難しい場合が多い。咽頭期では脳梗塞などの脳血管疾患で障害されるが、廃用症候群など筋萎縮が問題となることも多い。筋萎縮による嚥下障害への対応(筋トレなど)をもっと的確に行う必要がある。

3. 数字で評価する  
摂食・嚥下障害は藤島のグレード(1~10)を用いると、現時点での評価と今後の目標(ステップアップ)が明確になりやすい。

4. スクリーニングテストで評価する  
スクリーニングテストには①咽頭期の摂食・嚥下障害を否定する、②直接訓練開始を判断する、という2つの意義があるので、もっと

意識して取り組んでほしい。フイドテストや水飲みテストに頸部聴診法とパルスオキシメーターを組み合わせることで、効果的なスクリーニングが可能となる。

(胃瘻の適応)  
これらの評価を基に医学的適応(恩恵・無害)を判断し、患者の意向(自己決定)、QOL(幸福度)と合わせて、胃瘻の適応を考えるべきである。QOLの壁は楽しみとしての経口摂取ができるかどうかという所であり、食べるために一時的に胃瘻を造設する考え方も必要である。「経口摂取」にはこだわらるが、「経口摂取のみ」にはこだわらない。

### 埼玉県摂食・嚥下研究会 役員名簿

会長	吉原 忠男	埼玉県医師会長	理事	鯉淵 肇	埼玉県薬剤師会副会長
副会長	井坂 義昭	埼玉県歯科医師会長	理事	膳亀 昭三	埼玉県薬剤師会常務理事
副会長	小嶋 富雄	埼玉県薬剤師会長	理事	高久 悟	埼玉医科大学保健医療福祉学部健康開発学科学会教授
副会長	佐藤 進	埼玉県立大学長	理事	向田 良子	埼玉県看護協会会長
専務理事	大渡 廣信	埼玉県歯科医師会口腔保健センター 運営管理小委員会委員	理事	中島 悦子	埼玉県訪問看護ステーション連絡協議会長
理事 (総務・会計)	濱野 英美	埼玉県歯科医師会理事	理事	丸山 恵子	埼玉県歯科衛生士会長
理事(広報)	齋藤 秀子	埼玉県歯科医師会理事	理事	千葉 道子	埼玉県介護支援専門員協会理事長
理事	山崎 博	埼玉県医師会常任理事	理事	清水 充子	埼玉県総合リハビリテーションセンター 言語聴覚科長
理事	湯澤 俊	埼玉県医師会理事、埼玉県医師会介護 保険・在宅医療等推進委員会委員長	理事	内田 淳	社会福祉事業団嵐山郷歯科診療担当医長
理事	小川 郁男	埼玉県医師会理事、埼玉老人保健施設協会 会長、埼玉県医師会介護保険・在宅医療等 推進委員会委員	理事	川崎つま子	小川赤十字病院看護部長
理事	松本 郷	埼玉県医師会内科医会副会長	理事	奥村 元彦	埼玉県歯科医師会地域保健部副部長
理事	棚橋 紀夫	埼玉医科大学国際医療センター神経内 科・脳卒中内科教授	理事	藤野 悦男	埼玉県歯科医師会地域保健部副部長
理事	安井 利一	明海大学学長	理事	中里 義博	埼玉県歯科医師会会員
理事	清水 良昭	明海大学歯学部社会健康科学講座障 害者歯科准教授	理事	大前由紀雄	医療法人尚寿会大生病院耳鼻咽喉科長
			監事	丸木 雄一	埼玉県医師会理事、埼玉県医師会介護 保険・在宅医療等推進委員会副委員長
			監事	下山 定夫	埼玉県歯科医師会専務理事

埼玉県摂食・嚥下研究会会員数 265名・35団体(2009.7現在) ホームページ <http://www.ssek.net/>

世界約50カ国で愛用されているEBMに基づいた口腔ケア

## 口腔乾燥・・・biotène<sup>®</sup> バイオティーン

\* だ液にも含まれる天然酵素  
 (ラクトペルオキシダーゼ・グルコースオキシダーゼ・リゾチーム)  
 \* ラクトフェリン  
 \* 保湿・滋潤成分  
 \* キシリトール

**MOUTHWASH**  
 バイオティーン マウスウォッシュ

**ORAL BALANCE**  
 バイオティーン オーラルバランス

**SUPERSOFT TOOTHBRUSH**  
 バイオティーン スーパーソフト歯ブラシ

**ORAL BALANCE**  
 バイオティーン オーラルバランス

**TOOTH PASTE**  
 バイオティーン トゥースペースト

手の甲に少し少量つまみ  
 指に取り  
 口内全面に  
 歯間にも  
 マグネット状に  
 リハビリにも

製造販売元 ティーアンドケー株式会社 曙Ladede, Inc. ラクリード社(米国製)  
 東京都中央区日本橋堀留町1-5-7 TEL: 03-5640-0233 FAX: 03-5640-0232  
 URL: [www.biotene-tk.co.jp](http://www.biotene-tk.co.jp) E-Mail: [info@biotene-tk.co.jp](mailto:info@biotene-tk.co.jp)

21世紀の健康のキーワードは・・・**唾液!!**

平成21年度 総会資料要旨

■第1号議案 平成20年度 埼玉県摂食・嚥下研究会事業報告

- 1. 会員数：正会員265名 賛助会員 35団体 (63口)
- 2. 理事会及び総会  
平成20年7月13日 彩の国すこやかプラザにて開催
- 3. 講演会及び症例検討会  
◇平成20年7月13日『第7回講演会』  
会場：彩の国すこやかプラザ2Fセミナーホール  
演題：「臨床口腔生理学から見る咀嚼嚥下臨床」  
～在宅・施設での対応を3つのポイントで考える～  
講師：大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講座  
准教授 舘村 卓
- ◇平成20年10月19日『第4回症例検討会』  
会場：大宮国際調理師専門学校  
演題：患者のQOL向上を目指した安全な食事形態

- ～症例検討より学ぶ～  
講師：静岡県西部浜松医療センター診療支援部長補佐  
岡本康子
- ◇平成21年3月1日『第8回講演会』  
会場：埼玉県県民健康センター  
演題：PEGと経腸栄養の常識・非常識  
講師：国際医療福祉大学外科教授・上席部長 鈴木 裕  
演題：摂食機能からみた栄養支援  
講師：日本歯科大学付属病院准教授、口腔介護・リハビリテーションセンター長 菊谷 武
- 4. 摂食・嚥下研究会だよりの発行 (年3回)  
ホームページの作成・更新

■第2号議案 平成20年度 埼玉県摂食・嚥下研究会収支決算書

収入の部

項目	20年度予算額	20年度決算額	差異
入会金収入	30,000	28,000	2,000
会費収入	1,200,000	1,428,000	△228,000
事業収入	480,000	1,018,000	△538,000
寄付金収入	0	0	0
雑収入	0	2,023	△2,023
当年度合計	1,710,000	2,476,023	△766,023
繰越金	1,187,821	1,187,821	0
収入合計	2,897,821	3,663,844	△766,023

支出の部

項目	20年度予算額	20年度決算額	差異
事業費	2,797,821	2,265,201	532,620
(1)理事会・総会	202,400	126,084	76,316
(2)講演会費	1,780,000	1,275,949	504,051
(3)広報費	815,421	863,168	△47,747
予備費	100,000	0	100,000
支出合計	2,897,821	2,265,201	632,620
次年度繰越		1,398,643	

■第3号議案 平成21年度 埼玉県摂食・嚥下研究会事業計画

本格的な高齢社会を迎え、高齢者が最期まで元気で、健康な生活を送れることが切実な課題となっています。「食べる」ことに障害を持つ高齢者や障害児(者)が大勢いるにもかかわらず、その取組みが遅れています。埼玉県摂食・嚥下研究会は、摂食・嚥下障害の諸問題への対応や啓発指導、リハビリテーションなど目的を達成するために以下のとおり事業を行います。

1 講演会・症例検討会の開催

(1) 第9回講演会

- 平成21年7月12日(日) 彩の国すこやかプラザ  
演題：症例から考える摂食・嚥下機能の評価との適応  
講師：横浜市立大学附属市民総合医療センター

リハビリテーション科 若林 秀隆 (医師)

(2) 第5回症例検討会

- 平成21年9月27日(日) 埼玉県県民健康センター  
演題：嚥下障害のリハビリテーション  
講師：財団法人精神医学研究所附属東京武蔵野病院  
歯科口腔外科 齋藤 徹

(3) 第10回講演会

- 平成22年3月14日(日) 埼玉県県民健康センター  
講師などは未定

2 摂食・嚥下だより発行、ホームページの作成・更新。

- 埼玉県摂食・嚥下研究会だよりを発行 (年3回)  
ホームページの更新 (<http://www.ssek.net/>)

■第4号議案 平成21年度 埼玉県摂食・嚥下研究会収支予算書

収入の部

項目	21年度予算額	20年度予算額	差異
入会金収入	30,000	30,000	0
会費収入	1,200,000	1,200,000	0
事業収入	510,000	480,000	30,000
寄付金収入	0	0	0
雑収入	0	0	0
当年度合計	1,740,000	1,710,000	30,000
繰越金	1,398,643	1,187,821	210,822
収入合計	3,138,643	2,897,821	240,822

支出の部

項目	21年度予算額	20年度予算額	差異
事業費	3,038,643	2,797,821	240,822
(1)理事会・総会	202,400	202,400	0
(2)講演会費	1,780,000	1,780,000	0
(3)広報費	1,056,243	815,421	240,822
予備費	100,000	100,000	0
支出合計	3,138,643	2,897,821	240,822

# 埼玉県摂食・嚥下研究会

第5回

## 症例検討会

日時：平成21年9月27日(日) 13:00~16:00

場所：埼玉県県民健康センター1階大会議室A・B

### 講演

演題：「嚥下障害のリハビリテーション」

講師：財団法人 精神医学研究所付属  
東京武蔵野病院 歯科口腔外科部長 齋藤 徹先生

### 実習

頸部聴診法

今回は、(財)精神医学研究所付属東京武蔵野病院 歯科口腔外科部長の齋藤先生をお招きして、ご講演いただきます。

#### 《講演内容》

- ①リハビリテーションの流れについて
- ②症例提示(予後良好例、予後不良例)について

#### 《実習》

- ①聴診器のあて方(あてる部位)について
- ②正常な呼吸音の聴診について
- ③ペットボトルの水を利用して、水の嚥下音の聴診、水の嚥下前後の呼吸音の聴診について

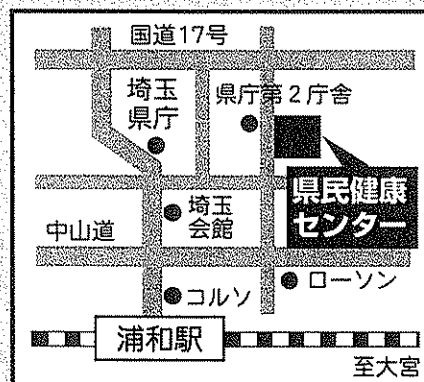
※聴診器をお持ちでない方には、当日お貸しいたします。

■定員：150名 (8月17日現在110名の申込みがございますので、お早めにお申込み下さい。)

■参加費：会員/ 無料  
非会員/ 2,000円(資料作成代等)

■申込締切日：9月17日(木)

※定員になり次第締め切ります。



埼玉県県民健康センター  
TEL 048-824-4801  
JR浦和駅より徒歩15分  
駐車場はありません。

主催：埼玉県摂食・嚥下研究会

問合せ：埼玉県歯科医師会事務局 TEL 048-829-2323

参加申込書 埼玉県摂食・嚥下研究会(会員・非会員)※どちらかに○を付けてください

フリガナ		職種	
氏名		電話	
住所 (勤務先)	〒 -	FAX	
		聴診器	<input type="checkbox"/> 持参します <input type="checkbox"/> 持参しません

申込書 FAX先 048-829-2376 (9月17日必着)